

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	観光型ホテル （商品企画担 当）	単価の動き	・ 8月は入域観光客数がピークを迎えることもあり、 3か月前と比較すると稼働率及び客室単価ともに上昇 しており、年間のピークの数値を記録している。
		観光名所（職 員）	来客数の動き	・ 予想以上に来客数が多く、前年同月の実績を超えて いる。特にレンタカー利用の家族、若者の来客者が目 立っている。
	やや良く なっている	スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・ 沖縄において有数な消費の動機付けとなっている旧 盆が今年は早期にあったことから、今月の前半におけ る販売数は比較的順調に増加し、月末には昨年同月よ りやや落ち込んだものの、今月の売上は上昇してい る。
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・ アイス、飲料等の売上が前年と比較して、20%近く 上昇しており、販売数も全体的に底上げされている。
		コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・ 熱暑の影響で、飲料の販売数が増加している。
		コンビニ（経営 者）	単価の動き	・ 2年もの間、対前年比で売上客単価の減少が続いて いたが、2、3か月前から上昇が続いており、今月も 前年に比べて約1ポイント上昇している。
		コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・ ジュース等の飲料関係の販売数が好調である。
		その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	それ以外	・ 去年10月の近郊への大型ショッピングセンター出店 以来、地元客の来客数や売上が確実に減少している。 ・ 本来の楽器販売以外の別事業や新たに新出店した観光 関連の店舗などにおける売上の上昇等によってかろう じて全体での売上は前年を上回っている。
		その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	来客数の動き	・ 去年より来客数が15%増加しており、その内観光客 数も増加している。 ・ モノレールの開通により飲酒後の帰宅手段が緩和さ れたことが要因となっていると予想される。
		都市型ホテル （マーケティング 担当）	来客数の動き	・ 夏休みに入り、県外からの観光客の動きが活発にな り、来客数もかなり増加し、館内における消費額も好 調に推移している。
旅行代理店（経 営者）		来客数の動き	・ 国内旅行を中心とした申込数が増加している。	
ゴルフ場（経営 者）	来客数の動き	・ 割引額を引き下げたこともあり、来客数が増加して いる。		
変わらない	百貨店（担当 者）	販売量の動き	・ 8月に開通したモノレールの動向により、来客数、 販売数ともに変化が見られる。 ・ 今月は台風の影響があったものの売上は上昇してい るがこの効果は一過性のものともみられることから、 好転との判断はし難い。	
	住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・ 見学会へ来客する客には二世帯住宅を検討される方 が増加している傾向にはあるが、景気を上向きにする ほどの需要増は見込めない。	
やや悪く なっている	家電量販店（副 店長）	単価の動き	・ 集客策および販促強化として電子メールや封書等 による情報広報をしているが、月間を通して、変わらず 客の購買意欲は低く、低価格思考となっており、客単 価の下落が続いている。	
	高級レストラン （副支配人）	来客数の動き	・ 来客数が極端に減少しており、客単価も下落してい る。 ・ 当店は観光客を対象として沖縄独特の舞踊、料理を 提供しているが居酒屋を好む客が増加しているとの情報 が聞かれることから、今後はさらにニーズに見合った アイデアづくりが求められている。	
悪く なっている				
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	建設業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・ 受注単価及び契約価格が上昇している。
		通信業（従業 員）	それ以外	・ 継続案件が増えている。
変わらない				

	やや悪くなっている	不動産業（支店長）	受注量や販売量の動き	・価格を下落させ、広告量を増加しても、問い合わせ件数、受注件数がともに少ない。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・契約の更新等順調に進んでいるが、観光産業が大変好調ということもあり観光産業関連の求人を求める声が多くなっている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数が増加傾向にあり、企業の積極的な雇用者獲得の動きがみられる。
	変わらない	求人情報誌製作会社（営業担当）	それ以外	・飲食業、コールセンター関連業に関しては多くの求人があり、雇用状況は好転しているように感じられるが、それらの業種では就職しても定着率が悪く、長続きしない傾向があることから、依然として状況は厳しい。
		学校〔大学〕（就職担当）	雇用形態の様子	・求人数はやや増加傾向にあるが、営業関連の職種が多く、それらの職種への応募希望学生は少ないなど、ミスマッチの状況にあることから、なかなか就職にながっていない。
やや悪くなっている	-	-	-	
	悪くなっている	-	-	-